

■ 目標値未達成の要因について

〔1〕

29年度の 成果測定指標	単位	29年度の目標値	29年度の実績値
新規登録企業件数	件	185	122

未達成の要因と分析	<ul style="list-style-type: none"> ・府内中小企業における受発注取引の増加傾向が続いており仕事が順調に入ってきているため、企業からの新規登録意欲が消極的になってきているものと思われる。
------------------	--

今後の改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度以降は、協力体制にある大阪市都市型産業振興センター等の支援機関が開催するセミナーや展示会に積極的に共催・後援や参加をし、チラシの配布や新規登録勧奨を積極的に実施することにより目標の達成に努める。
----------------	---

〔2〕

29年度の 成果測定指標	単位	29年度の目標値	29年度の実績値
設備貸与事業額	億円	20	19.4

未達成の要因と分析	<ul style="list-style-type: none"> ・府内の商工会、商工会議所との連携強化や金融機関・各種団体への協力依頼などによる積極的な利用促進に取り組んだ結果、ほぼ予算額（20億円）に近い申込を受け付けたが、取り下げが1件と、設備の製造の遅れ等により、設備の設置が平成30年度に繰り越される案件が5件発生したことから、僅かに目標を達成することができなかった。 ・当制度を利用して導入される設備は工作機械や車両など、発注してから納品まで数か月を要するものも多く、年度末までに設置される予定であるとして申し込まれたものの、製造の遅れ等により納品が4月以降にずれ込む案件が発生することは避けがたいものである。 ・また、予算額と目標額が同額であると、予算額を超える執行はできないため、事実上目標達成は不可能となってしまう。
------------------	--

今後の改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度へ繰り越す案件が一定発生することは避けがたいことから、今後は、繰越し分を見込んだ目標設定に改めることとして対応する。 ・また、今後も府内の商工会、商工会議所との連携強化や金融機関・各種団体への協力依頼などによる積極的な利用促進に取り組むとともに、全国最優遇水準の利率を維持するほか、申込書類の簡素化を図り、小規模企業者が利用しやすい制度とするよう引き続き取り組む。
----------------	---

〔3〕

29年度の 成果測定指標	単位	29年度の目標値	29年度の実績値
設備貸与事業申込件数	件	115	100

未達成の要因と分析	<p>・平成29年度においては、前年度からの繰越3.4億円に加えて、当年度に順調に貸与実績が伸び、2月15日時点で前年度からの繰越額を含めほぼ20億円の申込を受けるに至った。</p> <p>・この時点での申込件数は100件であり、予算額である20億円を超える受付ができないことから当年度の申込を締め切ったため目標を達成することができなかった。</p> <p>・目標の115件については、平成24年度から平成26年度の受付件数の平均を目標としてきたが、平成26年度以降、1件あたりの申込金額が上昇してきていることから目標の達成は困難となってきている。</p> <p><平均申込金額の状況></p> <p>H24: 16,379千円、H25: 17,035千円、H26: 19,445千円 ⇒平均：17,620千円</p> <p>H27: 19,602千円、H28: 21,163千円、H29: 19,290千円 ⇒平均：20,018千円</p>
-----------	---

今後の改善方策	<p>・平均申込金額が上昇してきている近年の状況を踏まえ、平成27年度から平成29年度の1件あたりの平均申込金額（2,000万円）に見合う申込件数に目標値を改めることとして対応する。</p> <p>・また、引き続き、府内の商工会、商工会議所との連携強化や金融機関・各種団体への協力依頼などによる積極的な利用促進に取り組む。</p>
---------	---